令和3年度　　委員会 研究計画

部・委員会名
特別支援教育

委員長	城田　純子	（松尾小学校）
副委員長	田中　寛人	（竜丘小学校）
会計	田中　寛人	（竜丘小学校）
記録	北原　タミ	（豊丘中学校）

研究テーマ	特別な支援が必要な児童生徒が主体的に取り組み、自己肯定感を高めることのできる授業づくり ～個別の指導計画の活用と見返し～
研究内容	①学び続けるための授業づくりのために ・主体的に取り組み、自己肯定感を感じることができる自己の振り返り場面の設定。 ・児童生徒が願いをもち、自らが学習への必要感を持つことのできる仕組みづくり。 ・個別の指導計画を活用した、教育課題に迫る学習活動の仕組み方。 ②自己肯定感を高める状況づくり ・『自分でできた』を味わえる活動（場面）の設定。 ・自己肯定感につながる「自己理解」「自己評価」「教師による評価」。 ・自分のよさや特徴に気づくことができる（自己理解・自己評価）ための支援。 ③学び続けるための「個別の指導計画」の活用と見返し ・「教育課題個人票（A表）」に関わって ・「教育課題個人票（B表）」に関わって

委員会回数	予定月日		委員会内容
	月	日	
1	4	27	・組織作り、事業計画検討、県特連支部総会と特担者会の計画
2	5	17	・委員会研究について、夏期研修の準備打ち合わせ、県特連下伊那大会他
3	7	28	・委員会研究について、夏期研修の準備打ち合わせ、教育課程午後の部について他
4	8	26	・委員会研究(公開授業の方向)について、教育課程午後の部準備、　他
5	9	30	・委員会公開授業案検討、郡展について　他
6	10	19	・委員会公開授業のまとめ、郡展について
7	12	21	・研究のまとめ、本年度事業反省、　他
8	1	20	・県特連事業の反省、委員会来年度事業の方向検討
小委員会等の予定	・公開授業指導案作成、研究のまとめ等、必要が生じたときに小委員会を開く。		
公開授業研修会講習会活動等の予定	1　講演会（ZOOM） 6月12日（土）　岐阜大学大学院教授　平澤　紀子先生 「困った行動をする子どもを、どのように観て、どのように支援するか考えよう」 ー教室でいますぐ使える応用行動分析の基本ー 2　実技講習会 7月31日（金） WISCーⅣの応用・分析　AIH心理相談室　吉澤智子先生 〃　基本　伊賀良小学校　大平正弘先生 会場：豊丘村交流学習センター「ゆめあるて」 3　教育課程研究協議会への参加、午後の研究協議の運営協力 10月15日（金）　上郷小学校 4　委員による公開授業 〇会場校　高陵中学校　〇授業時期　2学期 〇授業者　武田　恒子先生　〇授業学年　知障学級 〇単元名（題材）は、10月以降の単元に合わせて設定する。 〇子どもの特性を的確に捉え、個別の支援・指導計画を活用し、子ども自身が自己肯定感を高めつつ取り組む授業づくり。		